

＜第97回キャンパス・サミット資料＞

平成27年6月23日

社会環境学部「ビオトープ」及び「福工大前商店会活性化プロジェクト」報告
坂井宏光

1. ビオトープ活動～ 福工大構内の里山・ビオトープ活動は平成18年3月から始まり、可能な限り持続的に自然環境を維持保全して発展させてきました。そして、地域の皆様と学生達が自然観察会などで交流の輪を広げています。

平成27年度のビオトープ活動は、4月29日（水）に第36回自然観察会を開催しました。参加者は3歳から70歳までの地域住民14名、学生45名で、「春に身近で食べられる野草～味覚で春を感じよう！」を楽しみました（下の写真）。次は、7月4日（土）第37回（夏）の自然観察会を開催いたします。**是非、親子やグループ、個人などでご参加いただき、昆虫採取や交流も楽しんでください。**また、10月17日（土）第38回（秋）、12月5日（土）第39回（冬）に里山・ビオトープ自然観察会を順次、開催します（開催案内はHPで公開中）。



2. 福工大前商店会活性化プロジェクト～ 学部ゼミ活動の一環として、平成21年10月から福工大前商店会の活性化プロジェクトに取り組んでいます。平成24年10月から「**緑のカーテンや季節の花植えて省エネや景観などで環境配慮の街づくり**」をテーマに企画・実施し、潤いのある空間を創出して、賑わいのある街づくりを目標にしています。毎年、春と秋に商店会の皆様と連携して、季節の花を植えたプランターの設置を計画・実行しています。

そして、今年は、6月6日（土）に商店会の皆様と学生たちがたくさんのプランターに赤や白、紫などの色とりどりの草花の植え替えをして、商店街を美しく模様替えを行いました。（下の写真）是非、華やいだ福工大前商店街へお出かけいただき、お買い物や散策などを、お楽しみください。

